

令和 6 年度：第 1 2 回 西蒲区自治協議会 保健福祉部会 会議概要

◆会議概要

- 名称：西蒲区自治協議会 令和 6 年度 第 1 2 回保健福祉部会
- 日時：令和 7 年 2 月 2 7 日（木）午後 2 時 5 0 分～午後 3 時 5 0 分
- 場所：巻地区公民館 2 階 研修室
- 出席委員：栗原委員、岩崎委員、田中（弘）委員、本田委員、八百板委員、
原委員、小林（裕）委員、村山委員、鈴木委員
以上 9 名（欠席：谷原委員）
- 事務局：健康福祉課長、地域総務課係長、同課副主査
- 傍聴者：0 名

◆会議内容

令和 6 年度区自治協議会提案事業等について

- ・「丹野智文さん講演会&映画『オレンジ・ランプ』上映会」のアンケート集計結果等を共有し、意見交換しました。

【主な意見】

- ①今年度は提案事業を複数実施したため、予算の都合で配布するチラシの枚数がかかなり少なく、全戸配布などできなかつた。もっとチラシを配布できれば、より多くの方から知ってもらうことができ、参加いただけたのではないかと思う。
 - ②今回の事業をきっかけに、他団体で同様の事業を実施したいとの話が出ていると聞いた。事業を実施した効果と言えらと思う。
- ・「支え合いの大切さを広める標語表彰式」の中止に伴う対応を確認しました。
 - ・今年度の提案事業の事業評価書（案）について、協議を行い、上記②の内容を盛り込むこととしました。

第 1 0 期への引継書の作成について

- ・第 1 0 期への引継書（案）について、協議を行い、上記②の内容を盛り込むこととしました。
- ・「今後の取り組みへのアイデアについて」を協議事項として、3 月の本会議で諮ることとしました。

その他

なし

第9期西蒲区自治協議会から第10期への引継書（保健福祉部会）

1. 提案事業の概要について

令和5年度「講演会・情報発信」	令和6年度「ライフフェス田」
<p>①認知症に着目し、支え合いながら住み慣れた郷土で安心して暮らし続けるヒントとなるような映画上映会と講演会を開催。</p> <p>②支え合いと助け合いの大切さの啓発のため、メッセージの発信などを継続的に実施。</p>	<p>「支え合い・助け合いの意識などを育て、人と人とのつながりを大切にしよう！」を部会のテーマとし、地域の課題解決のヒントにつながるような、学び・体験できる催しを実施。</p>
令和6年度「講演会・映画上映会」	令和6年度「標語募集・情報発信」
<p>認知症に着目し、地域の見守り体制の構築に向け、特に若い世代から認知症への理解を深めてもらうために、39歳で認知症と診断されながらも自らの経験を語る活動を続けている講師を招き、講演会と映画上映会を開催。</p>	<p>支え合いの意識醸成として、「支え合いの大切さ」を広める標語の募集と、啓発メッセージや地域の支え合い活動の発信を継続的に実施。</p>

2. 提案事業の実施による効果について

令和5年度「講演会・情報発信」	令和6年度「ライフフェス田」
<p>①参加者から、実際に認知症患者を介護している映像と体験談を見聞きして理解が深まった、との声が多くあり、開催目的を達成できたと考え。</p> <p>②区だより等を通じて、身近なところでの支え合いの重要性を発信し、啓発を図ることができたと考え。</p>	<p>各ブースでの体験を通じて、来場者に支え合いや助け合い、健康づくりなどについて考えるきっかけや、その場に居合わせた様々な人と交流する機会を提供することができたと考え。</p>
令和6年度「講演会・映画上映会」	令和6年度「標語募集・情報発信」
<p>認知症当事者である丹野さんによる講演と実話に基づく映画の鑑賞を通じて、認知症に対する新たな気づきやより良く生きるヒントを得ることができ、参加者に認知症への理解を深めてもらうことができたと考え。また、今回の事業をきっかけに、他団体で同様の事業を実施する動きが出ている。</p>	<p>標語募集を通じて「支え合いの大切さ」について考えてもらうきっかけを提供するとともに、啓発メッセージや支え合い活動の紹介を通じて、身近な支え合いの重要性を発信することができたと考え。</p>

3. どのような課題が残っているのか

- 支え合いや助け合いの意識づくりは短期間では難しいため、引き続き、取り組むことが必要。
- 事業の趣旨や意図について、参加者への伝え方が十分ではない事業もあった。
- 事業の参加者の傾向から、若年層や男性への波及に課題がある。

4. 実施してきた取組を次のステージに進めるためにはどのような取組が必要なのか

「人の和でつながる安心・安全なあたたかいまち」を目指して

- ① 支え合い・助け合いの意識づくり
 - 様々な手法での働きかけ（今期は標語募集や講演会等を実施）
 - 取り組みの継続（“3のつく日は支え合いDAY”を掲げた情報発信）
- ② 事業実施にあたり丁寧に検討すべきこと
 - 事業の趣旨や意図を参加者へ伝えるための工夫
 - 若年層や男性への波及のための工夫
 - 参加してもらいたい層が参加しやすい日程、会場等の配慮
 - 事業の方向性（これまでの発信型にとらわれず、勉強会や意見交換会といった双方向のやりとりができるものや他団体の参考になる等の視点も含めて検討）
- ③ 新たに取組むべきテーマ（案）
 - 親子で学ぶ命の大切さ
 - 地域や家庭での男性の役割
 - 外国人との共生社会の実現に向けた支え合いの意識醸成
 - 環境美化
 - フードロス
 - 野生鳥獣の被害予防、対処 など

保健福祉部会提案に基づく協議事項

各常任部会にて、全体会で協議したいテーマについて検討していただきました。
結論を出すことを目的にしていませんので、積極的にご発言いただければ幸いです。

表題・テーマ	今後の取り組みへのアイデアについて
内 容	<p>今期の保健福祉部会では、支え合い・助け合いの意識づくりや、認知症に関する講演会など、主に福祉分野について取り組んできました。部会内で提案事業の効果・課題を協議する中で、</p> <ul style="list-style-type: none">・事業の参加者の傾向から、こどもや現役世代、男性への波及に課題がある・近年、福祉分野を中心に取り組んできたので、福祉分野以外の保健福祉部会が所管する分野の取り組みも検討すべき (保健福祉部会の所管分野：保健、福祉、生活環境) <p>という意見が挙げられた。</p> <p>今後に向けて、次の事項について意見を伺いたい。</p> <p>① こどもや現役世代、男性に「健康づくり・支え合い・介護・子育て」に関心を持ってもらうためのアイデア →例:男性だけが参加できる事業、e スポーツや筋トレをきっかけとした事業など</p> <p>② 西蒲区に必要な「生活環境」分野の取り組みのアイデア →例:ゴミ減量の取り組み、野生鳥獣の被害予防の取り組みなど</p> <p>※生活環境とは、環境美化(ゴミ)や野生動物、動物愛護など。</p>